

令和 4 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	三原市立南小学校	校長	岡田 恵子	生徒指導主事	松本 真美
-----	----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『ぽかぽか大作戦～温かい学校・温かい学年・学級を～』


取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション力」	1	「主体性」	3	「自らへの自信」	2

取組のねらい

学校内・学級内の「あったか言葉」を全校で集める活動を通して、児童どうしのつながりを深め、相手を思いやる心や感謝する心を育てる。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード つながる』
----------	-------------------------

<p>(1) 学校全体を振り返り、課題を明確にする ○全校児童を対象に、今の自分たちを振り返るアンケートを実施する。 ○生徒指導主事が児童会と連携を図り、学校全体の課題を明確にする。 ⇒「一部の友達にしか関わっていない」 「言葉によるトラブルが多い」 (2) 児童会が、学校の課題を基にどのような取組ができるかを話し合い、企画、立案する。 (3) 児童会が取組内容を全校に発信し、全校で実施する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>取組内容：「ぽかぽかコーナー」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①児童が言われて嬉しかった言葉やしてもらって嬉しかった行為について「ぽかぽかカード」に書く。</li> <li>②各学級の学級委員が集めて「ぽかぽかポスト」に入れる。</li> <li>③児童会役員が、書かれた内容をチェックして、給食時間に放送で全校に紹介する。</li> <li>④ぽかぽかカードを掲示して見える化する。</li> <li>⑤児童会が目標を設定して達成をめざす。</li> </ol> </div> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校児童を対象に行ったアンケートから出た意見は、学校の月間生活目標にも活かしていく。 (例 最近挨拶の声が少ない。 ⇒1日10人以上挨拶しよう)</li> <li>・全校児童が振り返りをして、児童会を中心に企画、立案することで、より主体的に、自分たちの問題として考えさせる。</li> <li>・児童会が各学級にカードの配布を行い、学級委員がカードを集めてポストに入れることを約束事として決める。</li> <li>・カードに書かれた児童だけではなく、それを書いた児童のよさも認め、互いに気持ちが悪くなることを味わわせる。</li> <li>・掲示場所を児童玄関にして、通る度に児童の視覚に入るようにし、取組を意識させる。</li> <li>・目標を達成できたら、縦割りイベントやクイズ大会等、児童の達成感につながる活動を企画していく。</li> </ul>
--	---

取組の成果と課題

○ぽかぽかカードには、自分の学級だけでなく、異学年や教職員に向けて書かれているものもある。それらをじっくり読んで、嬉しそうな表情を浮かべる児童や「ありがとう。」と互いに伝え合う姿が多く見られる。児童どうしのつながりを深めることができたとともに、どのような声かけや行為が相手を温かい気持ちにさせるのかが分かり、その輪が広がった。相手を思うことで自分も嬉しく温かい気持ちになることを味わい、年間を通して全校児童に伝えている「相手を大切にすることは自分を大切にすること」への意識が高まった。

●12月に実施したHyper-QUの結果において、学級満足群の割合が全国平均以上だったのは15学級であり、3学級が平均に至らなかった。また、学級不満足群の中の要支援群に位置する児童も全校で14名いる。つながりを大切にしたい取組を継続して行い、温かい学校・温かい学年・学級集団に高めていく。